

作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	山本 直樹
所属機関名	獣医学部獣医学科
職位	講師
在籍年	1 年

教育の責任

学科の専門教育において、産業動物学および獣医臨床繁殖学の講義（分担）、ならびにそれぞれの実習の指導をしている。それらの分野に関して、学生さんの興味・関心を得るとともに専門知識を解説する責任がある。

担当科目：産業動物臨床学，獣医臨床繁殖学，参加型臨床実習

教育の理念

学生さんに獣医師として、産業動物に関する科学的臨床評価および治療が可能な知見を身に着けさせるとともに、臨床研究分野に関する興味・関心をもたせることにより学生さんの将来的なスキルアップの可能性を引き出す。

教育の方法・方針

- 講義においては、知識と臨床現場での状況をリンクさせることで体系的に知識と経験を吸収できるよう、臨床現場での事例を交えながら説明している。
- 講義のスライド作成において、要点を理解しやすくするため、メカニズムの図あるいは症例の画像を積極的に使用している。
- 専門知識に関する理解を深めるため、講義内容が他分野とリンクする場合、その内容を復習させている。
- 漫然と聴講することを避けるため、單元ごとに小括として講義内容に関連した獣医師国家試験の過去問を織り交ぜて内容に緩急をつけている。
- 実習においては、学生さんが牛から得られる生の経験を得られるよう、口頭での説明後、学生さん自身が説明内容に関する牛の部位を確認していることを確かめている。
- 学生が主体的に参加するよう、実習においてはスケッチを取り入れている。
- 実習において、産業動物に接したことのない学生さんが興味を持てるよう、できるだけ多くの学生さんが牛に触れるように声がけしている。

教育の成果

学生さんから、実習中「牛にふれることで産業動物に興味を持った」との声があった。卒業後の進路希望が決まっていない学生からも、「産業動物も視野に入れたい」との発言があった。実習において細胞のスケッチを取り入れることで、主体的に学生さんが取り組む姿が見られた。授業アンケートにおいて、概ね「満足」「ほぼ満足」という回答が得られた。

今後の目標

産業動物臨床学や獣医臨床繁殖学の知識・面白さを学生さんに伝えるため、実際の牛を使った実習などにおいて、講義内容を踏まえた説明を行う。講義資料のスライドから代表的な図を抜粋し、実習で牛を使った説明を行う。

根拠資料

- 講義配布資料スライド
- 2024 年授業アンケート
- 実習用ワークシート（細胞の計数およびスケッチ記入用スペースの記載あり）